

第一回 石巻 NPO 連絡調整会議 議事録 3 月 20 日

場所 : 石巻専修大内 災害ボランティアセンター内 文責 草島進一

参加団体

- ピースボート 上野
- NGO メイクザヘブン 井上
- ヒューマンシールド神戸 吉村
- 日本財団 沢渡
- ガイドステーション わっか 木名瀬
- キャンパー 飯田
- 德音寺
- 四万十塾 木村
- つよし流自然農 火口山
- 鶴岡元気村 草島

■内容

- 1) それぞれの活動報告
 - 2) 被災災害状況の説明 社協 阿部氏 衛星写真を使い被害状況を説明
 - 3) 調査など、先行団体より活動報告
- 特機事項 「指定避難所以外の避難所の状況調査をはじめている。フォーマットをつくった。

■討議事項

▽物資についてどうするか

- NGO 専用の物資一時集積場が必要。
- 自衛隊の物資の出し入れをどうするか→許可証をつくってはどうか？

▽調査隊について

- NGO 調査隊(メイクザヘブン)の調査フォーマットを共有する。
- 自衛隊が避難所の他の情報を情報共有したいと依頼があり、明日、情報共有する →社協とも調整する。

▽ 炊きだし隊の調整 冷たいものしか食べていないところがある。避難所外の対応も課題

▽ それぞれの活動場所、活動についてマップ上で共有する

共通認識:「石巻は危機的状況」これまでつちかった NPO、NGO のマンパワーをどんどん結集しよう。

今後、情報共有の機能を継続することを確認。発信のためのホームページを作成する。

第二回は翌日 21 日 19 時から ボランティアセンター内でおこなう。

第2回 石巻支援 NPO 連絡会議 議事録 3月21日(月)

日時:2011年3月21日(月) 19:00

場所:石巻専修大学 内

参加者:各 NPONGO チーム、石巻市社会福祉協議会、ほか

■配布物

■被災状況説明(別資料による)

石巻市(一市九町合併)沿岸部→4万人強被災。地震+津波→陸の孤立化。

■討議内容

▼物資についてどうする

- ・市方針(社協依頼)→行政区別に要望があれば OK
ストックヤード→石巻専修大(陸上場)→石巻、女川、東松島へ
- ・陸自→ラグビー場へ

▼調査隊について

- ・メイクザヘブン<調査フォーマットを共有できないか?>

…23項目<別添資料による> 【個人宅避難所等→ボラセン認識→自衛隊も共有】

14~17が記入しにくい(・何名でなく何%でいいのでは?・丸をする程度の記入方法・案内役の記入必要

・地図の表記、すぐ行ける・暖房の燃料、方式等

・移住の話もある→ホテルを期間的に使用、組織的にマンパワー活かす、バス有り)

↑

意見を頂き修正! → 共有して使用 (十分な説明&自己紹介不足、個人情報<コンプラ>)

⇒ a) ビブスを着用?(社協名を入れる!) b) 腕章にするか?(作れますよ!)

- ・被災者=家がない or 住めない or ライフライン損傷

■女川の状況

- ・通信環境→トランシーバー× AUCO ・海泉閣→浴場作り
- ・町内16か所に避難 ・大石原までは行ける ・牡鹿はコミュニティー力がある
- ・ラジオ、電池、連絡取れない ・1件で50名~更に増えそう!食糧不安
- ・原発体育館250名+自主運営避難=380名 ←作ったものをデリバリー必要!!←行政的、寄機からも IN

■トイレカー(福祉仕様)

要望有れば→鹿妻へいこう!!

■明日やること!!!

- ・石商高炊出し ?回/日 ・湊小→ランチ炊出し ・調査明日より
- ・支援活動調査→石巻支援 NPO へ連絡(090-1367-0083)担当ピースボート、石巻社協
- ・炊出し参加→全国から ・避難所→仮設住宅(2, 3か月)
- ・ガス抜き! ・車の撤去のフロー

■仮設住宅~島原の例

- ・どこに建てるか? → 官地=早い、民地=遅い

→公の施設を使う方向になっている

- ・全ては自立復興に向けた活動、出来るだけ地元民が入り円滑に自立する。

■物資が入っています

- ・JC より→皆様と共有したい♪
- ・石巻港 IC～石巻青果市場 ←ストックヤード

=====

- make five 20名体制、配給、調査
- Peace boat 増員、炊出し(湊小)、高齢者ケア
- ポップ 未定
- JC 資材配給
- ハラカム混成
- 財団 淡水化プラント
- フードバンク トラック1台分物資配給、鹿妻小付近
- 太田 蛇田・青葉地区～オーダーで炊出し
- トイレカー
- SS 150名程度炊出し可
- 八ヶ岳ピースワーカー 調査物資
- つよしさん 女川、大須、浴場作り
- 吉村
- イビューサ 水10t搬入

第3回 石巻 NPO 連絡調整会議 議事録 3月22日(火)

日時：2011年3月22日(火) 19:00

場所：石巻専修大学 ボランティアセンター内

参加者：各 NGO チーム、石巻市社会福祉協議会、ほか (〇〇名) 文責：ピースボート 上島・小林

■配布物

- ・昨日(21日)の議事録
- ・最新避難所情報

■新規 NPO 追加グループ

- ・拓殖大学 3 年生 石巻出身 クマガイリクさん
- ・石巻出身 マスヨウスケさん
- ・チーム神戸 金田ますみさん
- ・湊小学校 ショウジシニアキさん
- ・石巻市議員 クロスさん
- ・クライストチャーチ カミンズ
- ・シーマツ&アイマツ カナダ医療チーム
- ・神戸 ウエサカさん
- ・JEN ヒヤマさん

■連絡事項

- ・連絡ボード設置(特色・代表者・連絡先・避難所の最新情報・自衛隊の持っている情報・各団体の物資管理情報)
- ・代表連絡先決定 090-1367-0083(小林・阿部) 石巻専修大学 5 号館 1 階
- ・ラジオを使つての情報発信を検討中→FM 局と相談中。(情報に関しては本部を通して発信する)

■被災状況の説明>石巻社会福祉協議会

- ・避難所への物資は行き届き始めた。
- ・個人宅へはまだ行き届いていない。
- ・ラジオでの情報発信をおこなっていく。一日 1 回～2 回
- ・現地ニーズを拾っていく。

■昨日決定事項の進行確認

- ・ヒアリング調査(メイク・ザ・ヘブン)
- 新しくなったヒアリング用紙はボラセン入り口に置いてある。
- 蛇田地区には物資が行き届いていない。
- 自衛隊からの物資提供は湊地区で 70 名分。
- 全てはまとめきれていないので明日朝(23 日)までにまとめて掲示しておく。

■決定事項

- 携帯電話の配布
- 400 台配布
- 配布物資

女川町へ 肌着を5000着配布

○石巻 HP

■現場のニーズと今後のプロジェクト運営と方向性

○街中にある泥の撤去(阿部)

・石巻市→1市6町が合併

仙台⇄石巻のボランティア専用無料シャトルバスを手配。

→長期滞在を行える NPO 団体で泥の撤去を行うことを検討。エリアを分けて撤去に入っていってもら。

最終的には地元市民にて撤去作業をおこなっていく。

・広報は市の HP で行う。

・8:30～15:00 までの作業時間

・バス運行スケジュール 仙台発 7:30 石巻発 16:00

・ダンプと2トン車のセットで泥の撤去を行う。

▲問題点

・行政の車が一緒に動いてまわらないと泥の行き場がない。

・土嚢袋が必要 1日2万枚が必要

・家に家族がいるかどうか？

・撤去を行っていく順番をどう決めていくか。

→避難所からおこなっていくのは良いのではないかと炊き出しなどの関係

○物資配給活動

避難所だけでなく街宣マイクにて宣伝してはどうか？

住民とのトラブル防止の観点から、車へ「NPO 連絡石巻」

○現在避難所で必要とされているもの

傘、爪切り、バック、カバン、お財布、靴、マフラー

■周辺地域の状況

○湊小

・避難所によって自衛隊からのニーズ聞き取りが行き届いていない。

・晩御飯は出せていない。

・長期的に入るボランティア団体がほしい。

○釜会館

・食糧がいきわたっていない。

○ラジオ

・牡鹿半島ではラジオがない。

→募集を開始している。1000 台以上は集まっている。

・出力を 20W→100W へ変更。仙台まで届く

・周波数が決まれば教えてほしい。9:00～18:00

・周波数 76.4Mz

○避難所の自治に関して

第4回 石巻 NPO 連絡調整会議 議事録 3月23日(水)

日 時 : 2011年3月23日(水) 19:00

場 所 : 石巻専修大学 ボランティアセンター内

参加者 : 各 NGO チーム、石巻市社会福祉協議会、ほか (50 名) 文責 : ピースボート 上島・小林

■配布物

- ・昨日(22 日)の議事録 2 枚

■新規 NPO 追加グループ

・

■報告

- ・泥だしプロジェクト 社協:阿部さん

・ITT の回線が通じ、市の広報 WEB を開設。

仙台にあればシャトルバスと出し、石巻にてボランティアを行えるようにする。ポラセンから市内までの移動手段がなし。水が足りない。運営スタッフが、提案をする。

- ・浄水器 日本財団:黒沢さん → 水出ました! 川から引き揚げた水を 11:00~15:00 まで一般使用できる。飲み水としては使用できない。洗濯などの生活用水で使用できる。仲町交番(市役所のバスターミナルにて)

- ・ローラー作戦隊 ピースワーカーズ → 生活調査と物資を配布。無料配布場所を 4 か所設定。ゼンショウジ、エイコウ幼稚園、中部自動車学校、アムスガーデン。釜会館にて発電機を設置。

- ・女川原発を通らないといけない避難所を発見。SSER

■リクエスト

- ・ホープ支援センター 障害者の状況を知りたい → 井上さんからシェア

- ・カナダの医療チームが来ている。医療が行き届いていない。場所を知りたい。

- ・ピースボート 4 人ひと組体制で、避難所に入って深い調査をしたい。今すでに入っている団体は知りたい。

- ・女川町の情報の共有ができていない。調査結果を女川の社協へも教えてあげてほしい。

- ・ラジオはもっと広範囲の情報を提供してほしい。電波が届いている範囲は広がっているが、

- ・赤十字のアセスメントシートと調査シートを共有する。

→ 赤十字からの情報提供。アセスメントシートを提供。ひと組 8 人の救護活動を行っている。今後は、情報を共有して食べ物・水は過不足ある。バイク便などで配達などを行っている。医療に関して、県から依頼を受けている。薬はすべて赤十字にきている。問題は、医師会が壊滅的な打撃を受けている。立ち上がるのに、時間がかかる。身寄りのない寝たきりの方が多数いる。県では特養老人ホームの規制緩和を検討。避難所にストックしているかたをどうするのか。ガソリン、車をほとんどの方が失っている。徒歩圏内でしか薬をもらいにいけない。本来は撤収の時期ではあるが、まだ数カ月巡回をしている。避難所の衛生環境が悪い。トイレがあふれている。避難所の衛生管理・掃除などが必要!

- ・明日から NGO/NPO 連絡会議に市の役員も参加する。

■協議事項

・ラジオの情報発信 ラジオ石巻に流す。

無料配布する場所を知らせる。

社会安全研究所から避難所の人たちが、そのように復興していくのかは専門家が話す。

ラジオの機種によって聴けない場合がある。ラジオを選定する必要がある。聴ける FM ラジオを集めいる必要がある。

→ 仮設のリピーターを付ける必要がある。情報が偏らないように。聞けなかった場合は、エリアを教えてください。JC

ラジオを使った反響がかなり被災者からある。ローラー作戦に情報の時差がある。ラジオでの問いかけをしてもよいのではないか。

・情報を集めて発信する。お風呂など。

■決定事項

土嚢袋を1万6千準備した。ボラセン倉庫に保管。

集める物を確認。

第5回 石巻 NPO 連絡調整会議 議事録 3月24日(木)

日 時 : 2011年3月24日(木) 19:00

場 所 : 石巻専修大学 ボランティアセンター内

参加者 : 各 NGO チーム、石巻市社会福祉協議会、ほか (50 名) 文責 : ピースボート 上野

▼新規

石巻市役所 福祉部福祉総務課 イシハラ__避難所運営 30 か所の指定避難所

医療法人財団__被災者のメンタルケア

カリタスジャパン__マンパワー派遣

NPO 法人 日本ユニバ

RQ 市民災害救援センター__人的支援

徳島社協、香川社協

国際ボランティア学生協会__物流サポート、炊き出し

▼各団体活動報告

割愛

▼協議事項

・避難所の衛生環境

__避難所の泥だしと掃除。トイレ環境の向上。

__炊き出しの提供場所。ブルーシートの上で行う。もしくは清掃して行う

__ラジオでの告知

__廃材のゴミ箱などを利用して掃除用のバケツ代わりに

__土足禁止にした方がいい。

・ラジオ感度に関して

__市内に関しては良好

__牡鹿地区は入らない

__雄勝は入る

__女川は場所によりけり

・薬など

__被災者で風邪を引かれている方

__マスクの配布、ラジオでの周知徹底

・温泉ツアー

第6回 石巻 NPO 連絡調整会議 議事録 3月25日(金)

日 時 : 2011年3月25日(金) 19:00

場 所 : 石巻専修大学 ボランティアセンター内

参加者 : 各 NGO チーム、石巻市社会福祉協議会、ほか (50 名) 文責 : 石巻青年会議所 大丸英則

■配布物

- ・昨日(25 日)の議事録 1 枚

■新規 NPO 追加グループ

- ・名古屋 レスキューストックヤード
- ・青年海外協力OB会
- ・静岡県ボランティア協会
- ・ジャニック
- 山形県 鶴岡元気村

■報告

- ・青年海外協力隊 渡波小学校で炊き出し(600食)
- ・日本ユニバース 物資倉庫の整理 かずま小学校でヘルパーの補助、問題解決
- ・たけちゃん カナダの医療チームと医療行為の許可を得た
- ・青年 灯油の配布
- ・プロジェクト 鶴の湯の泥だし
- ・つよし 在宅避難者への配給
- ・四石十塾 浄水所前で炊き出し
- ・鶴岡元気村 食材配布
- ・日本財団 11-15水の配給(生活用水)
- ・国際学生V教会 給水
- ・SSER 朝食、夕食の提供
- ・キャンパー 炊き出し(在宅・中学校)
- ・ハケ岳 禅唱寺で物資配給 めざましテレビ出演
- ・ホープ支援センター 市内物品配布、情報収集
- ・湊小学校で運営サポート、山下小学校で炊き出し
- ・ピースポート 支援物資の整理・配布、炊き出し
- ・石巻JC 炊き出し、灯油配布
- ・本部 タンク300L×300、角スコップ×100、デッキブラシ、ジョレン、土嚢袋、竹ぼうき

■協議事項

- ・避難所環境の改善→ブルーシートで炊き出し
- ・物資の中身一覧が明日できる→被災者のニーズと倉庫の連携をとり配布できるようにする
- ・炊き出し調整に苦戦している→炊き出しニーズの情報が欲しい
- ・カナダからの浄水器(毎分100L)をどこに設置するのか?→法律上飲み水に資料はNG生活用水には使用可
- ・いわき市からの人員輸送100名手配できないか?・

ボランティアを送る観光バスを使つての日帰り温泉ツアー。

- ・情報収集と物資

避難所などから、「必要なものを聞かれても持ってきてくれない」という声を聞いた。
それぞれが責任を持って配布するべき。

- ・物資の必要数

避難所の入所人数に合わない物資だと持っていくことができないので、必要な物が必要。

- ・避難所外の被災者への行政の対応

市内 50 の自治会へ物品を配給を行っている。4 万 5 千を目標に行っており、旧石巻市街では 8 割方配布できている。

ライフラインが復旧した地域から、避難所から各家庭に戻っている人達が出てきている。

- ・物資保管庫

自衛隊から、10m×50m を 3 幕借りられる。